

# 2008年度武蔵野市予算——「暮らし支え、平和を発信」また一歩前進

## ついに、中学校給食実施

2008年度予算が全会一致で成立しました。市民の長年の願いであった中学校給食は08年度2校、09年度3校、10年度1校順次実施されます。国政では増税にくわえ、医療・介護・障害者など各分野で負担増と制度の後退がつづいています。こういうときだけに、日本共産党は邑上市政の与党として、市が暮らしをささえる役割を発揮するよう市民の願いや公約を予算にもりこむため全力をあげてきました。さらに頑張ります！

### 子育て支援ますます充実！

- 妊婦健診の公費負担 2回→5回へ拡充
- 認可保育園の保育料、実質引き下げ
- 認可外保育施設の保護者への助成を月額1万円に増額（3歳以上）
- 私立幼稚園児の伝染性疾患後の登園許可書発行費用を全額市の負担に
- 小学校の図書費増額と図書室のクーラー設置拡大

保育料は前年度の所得税額をもとにきまります。昨年、税制改正で収入はかわらないのに市民の大多数が住民税がはね上がり、所得税が下がりました。これにより、武蔵野市では大多数の人の保育料は下がります。一方、三鷹市など多摩のほとんどの自治体では、税制改正の影響で保育料が下がらないよう、保育料の改定をおこなっています。

### 中学校給食に喜びの声

「子どもが中学校に上がる前にと願っていました。ありがとうございます」（南町0）  
「運動にたずさわったのは30年前。孫が恩恵にあずかれる。市長が変わり、自民党や公明党による予算否決などをのりこえて、ついに実現してうれしい」（東町K）

### 国の制度改悪のなか、暮らしをささえる

- 基本健康診査の水準維持、30代若年層に健康診査拡大
- 障がい者の通所施設への家賃助成を創設
- 税制改正の影響で保険料が上昇した方の、介護保険料の軽減措置継続
- 新しい特養ホームに市民優先枠。認知症見守り支援事業を新たに実施
- 独居老人、要支援介護認定者、障がい者の実態調査でニーズ把握
- 創業融資あっせん制度の創設で起業支援



### 平和・環境・安心のまちづくり

- 非核都市宣言平和事業
- 太陽光発電設備を一小に設置、住宅用太陽光発電への補助充実
- 商店街の耐震化を、固定資産税軽減、耐震助成、信用保証料補助で応援
- 民間住宅・マンションの耐震診断・改修の助成増額
- ホワイトイーグルのパトロール時間の延長
- 吉祥寺と武蔵境の駐輪場立体化。吉祥寺地下駐輪場にむけた調査



### 武蔵野から平和を発信

昨年、邑上市長のイニシアチブで、「子どもとおとなの日本国憲法」の復刊、非核都市宣言25周年事業がおこなわれましたが、継続的に平和事業に市が取り組んでいくための市民参加の実行委員会が設置されます。

## よかったよかった 介護保険税の値上げをストップ

1月31日におこなわれた国保運営協議会への提案では、国保加入者の介護保険税の限度額1万円値上げがもりこまれていました。試算をすると、課税所得197万円（自営業者4人世帯の場合）をこえる人はみな負担増になるものでした。日本共産党は、“介護保険会計の決算は黒字になっており、値上げには道理がない”と国保運営協議会で反対し、市長にも繰り返し申し入れをおこないました。この結果、うれしいことに介護保険税の限度額値上げは見送られました。

### 国保税値上げに共産党は反対

後期高齢者医療制度がスタートするなど一連の医療制度改悪で国の責任が後退し、武蔵野市の場合、一般会計から国保会計への繰り入れが3億7千万円増大します。残念なことに国保税の負担限度額の6万円引き上げが日本共産党以外の賛成で決められてしまいました。

暮らしの相談は  
日本共産党  
武蔵野市議団へ



梶雅子 47-9391



橋本しげき 36-3110

ホームページもご覧下さい

日本共産党武蔵野市議団ニュース

2008年春号

ご意見は

電話：60-1888

FAX：51-9485

# 後期高齢者医療制度は中止を

4月から後期高齢者医療制度がスタートします。75才以上のお年寄りがこれまでの健康保険から脱退させられ、別立ての保険制度に入られます。こんなひどい制度は世界に例がありません。

75才になると、74才までに比べ、医療内容は制限されます。無料の健康診断の対象からはずされます。

さらに、これまでの国保税よりも高い保険料になります。右のように2年間軽減措置がとられますが、それでも武蔵野では年金生活の夫婦世帯のほとんどが負担増となります。これまで扶養家族だった方も半年後から保険料を払うことになります。

なぜこんなことをするのか？ 政府は、「75才をこえた高齢者の特性に応じて」、「治療に手間と時間」「認知症が多い」「やがて死を迎える」からとこたえています。まるで「手間をかけさせず、早く死んでくれ」といわんばかりです。人の道をふみはずすこんな制度を許すわけにはいきません。

## 長寿を祝える社会にすることが政治のつとめ

喜寿(77才)、米寿(88才)、卒寿(90才)…。日本社会は、みんなで高齢を祝う社会だったはず。悲惨な戦争をくぐりぬけ、戦後の日本をつくってきた高齢の世代を足げにする制度はやめるべきです。

政府は、この制度の創設で、医療費が2015年には年間2兆円、2025年には5兆円削減できると試算しています。「財源」を理由に、まっ先に高齢者の命をおろそかにするようなことは許されません。

## 改善が実現

- あまりに高くなる保険料の軽減を日本共産党は求めてきました。市長会の努力もあり、所得割の減額措置(当面、2年間)がもうけられ、東京の保険料は日本一安くなりました。
- 後期高齢者医療制度では健康診断に自己負担が導入されていますが、日本共産党は無料化を求め、武蔵野市では市が負担し、市民は無料です。
- 滞納者に、武蔵野市は保険証の取り上げ=資格証発行はおこなっていません。日本共産党は後期高齢者医療制度のもとでも資格証の発行をおこなわないことを求め、武蔵野市も慎重な運用を表明しています。



後期高齢者医療制度の撤回を求める井の頭公園での大集会に参加する武蔵野議員団と本間まさよ前市議

## 若い世代の雇用

若い世代の不安定雇用を改善するために、繰り返し市議会で対策を提案し、今年度は新たに地元市内中小業者と市民の就職相談会が実現します。



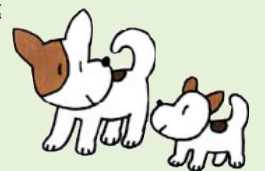
## 妊婦健診の公費負担拡充

妊婦健診は健康保険がきかないため、必要な健診を受けない人が増えています。安心して子どもが産めるように、日本共産党は公費負担の拡大を求め、2回から5回に拡充が決まりました。14回めざし、さらにながめます。

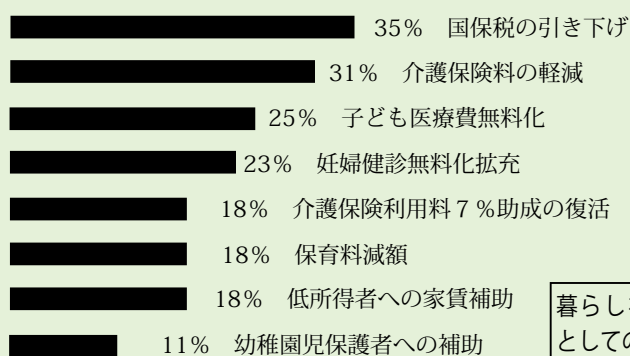
市民の願い  
実現に全力  
日本共産党

## 地球温暖化ストップ

邑上市長は太陽光発電設備の公共施設への設置にくわえ、新エネルギーや省エネにとりくむ市民への補助を拡大してきました。しかし、武蔵野市の環境基本計画の温室効果ガス削減の目標は2010年までに90年比マイナス6%、達成のメドは立っていません。先進国は2020年には90年比でCO2の20~30%削減が必要です。日本共産党は、先進自治体のように2020年までの踏み込んだ中期目標を武蔵野市として持つこと、市民参加で具体的な実効性のある環境基本計画に改定することを求めています。



## アンケートご協力ありがとうございました



暮らしを支える施策としてのぞむもの

暮らしが大変になったという声が増えています。暮らしを支える市政へ発展させるため引き続き全力をあげます。

## まちづくり条例

武蔵野市内では、法政中高跡地の巨大マンションや三鷹駅北口の100メートルツインタワーの建設など住民との合意がない大規模開発がつついています。

武蔵野市の開発のルールを定めるまちづくり条例の検討がすすみ、今年度中に制定されるみとおしです。日本共産党は、「まちづくりの主役である住民」の意志が尊重される仕組みにすること、地域ごとの高さ規制をもちこむなど、住環境を守る効果をもつ条例にするよう求めています。

